

取組みのカテゴリ

安全衛生方針

緊急事態対応

企業情報

所在地：愛知県

従業員：390名

労働安全に関するコミュニケーション

腰痛防止対策

労働安全教育の工夫

外国人労働者の労働災害防止

背景

- 毎年、休業4日以上労働災害が発生するため
- 他拠点と比べて労働安全の取組みが遅れていたため

取組内容

1. 【トップマネジメントのコミットメント】

- 何よりも従業員の安全が一番であり、安全第一をトップマネジメントが常に言い続けています。提出されたヒヤリハットに目を通し、安全衛生委員会にも参加するなど積極的に労働安全の取組みに関与しています。労働安全対策には、お金が掛かるものもありますが、そうした考えから積極的に投資しています。今、業界に先んじてISO45001（労働安全衛生マネジメントシステム）を認証取得することを目標に取組んでいます。

労働安全衛生方針 Occupational safety and health policy

当社は、以下に基づき労働安全衛生マネジメントシステムの継続的な改善を図り、労働安全衛生活動に対して協力していくことを約束します。
We commit ourselves to continuously improve our occupational safety and health management system and be engaged in occupational safety and health activities under the following initiatives.

①、労働安全衛生マネジメントシステムを活用し、継続的な労働安全衛生レベルの向上を目指します。

We will make a full use of our occupational safety and health management system so as to continue to heighten the occupational safety and health standard in the workplace.

②、労働安全衛生関係法令ならびに、その他の要求事項を遵守し、事業場の労働災害の防止に努めます。

We will comply with all laws, regulations and other requirements related to occupational safety and health and aim to prevent industrial accidents in the workplace.

③、危険源を除去し、労働安全衛生リスクを低減する目的・目標を設定し、計画的な実行と見直しを行い、労働安全衛生マネジメントシステムの継続的改善に努めます。

We will aim to remove hazard sources, set our objective and goals to reduce the risks to occupational safety and health, and continuously improve our occupational safety and health management system.

④、全従業員に対して意見を聴いて労働安全衛生に関する教育及び意識向上活動を実施します。

We will conduct activities to provide education to all employees so as to raise their awareness of occupational safety and health.

2. 【工場一斉の安全教育で従業員の安全意識向上とリスク低減】

- 労働災害を撲滅するためには、従業員の意識を生産性第一から安全第一に変える必要がありました。そこで、2019年から工場の稼働を1日止めて労働安全教育を行う「安全の日」を設けました。
- 具体的には、10個のプログラム（KYT、危険体験、備蓄品使用訓練、非常口スタンパラー、インフラ復旧訓練、放送訓練、机上訓練、地震体感、消火訓練、普通救命）を実施しています。
- 労働安全に関する会社の姿勢を示すことができましたし、従業員も真剣に取り組んでくれて、やって良かったという意見が多くありました。教育の効果を客観的に計るため、従業員アンケートを実施したところ5点満点で4.2点でした。アンケート結果をもとに内容を改善して、今後も継続していく予定です。

3. 【危険体感学習】

- 恐怖体験を実感させることで安全の理解度を高めるため、「安全の日」に何種類かの体感学習を実施しました。
- 具体的には、指に見立てた割りばしが粉碎される状況を体験する機械の巻き込まれ体感、圧延機に引き込まれる力を体感する挟まれ体感、滑りやすい床の体感、指差し呼称の有効性体感などを準備しました。
- 体感学習用の機材は、専門業者に依頼し、レンタルしました。
- 従業員の理解度も高まり、満足度調査でも高評価でした。



4. 【自動昇降機で作業改善と腰痛予防】

- 当社では、小集団活動を継続して実施していますが、労働安全教育を積極的に進めてきた結果、安全をテーマにした改善が増えてきました。
- 工程によっては、重量物を取り扱う作業があり、体への負担が大きいものもありました。
- 小集団活動の成果事例として自動昇降機を使った重筋作業軽減の改善ができました。
- 「楽だくん」という機械で約30万円の投資でしたが、腰痛予防に効果を発揮しています。



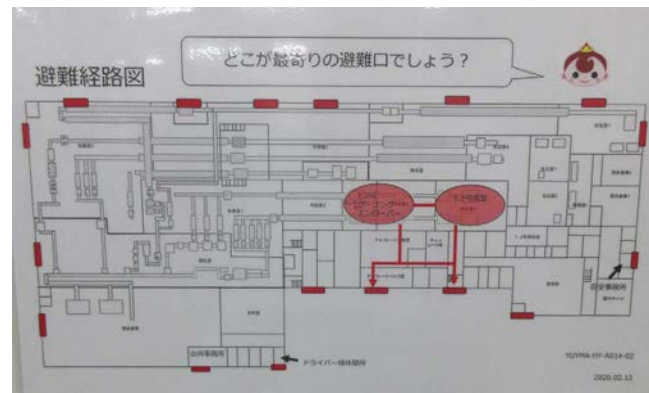
5. 【用途に応じた13種類の手袋】

- 当社では、労働安全、食の安全、作業性の向上などで用途に応じて13種類の手袋を使い分けています
- 具体的には、耐熱用、清掃用（床用などさらに細分化）、製品に接触する作業用、切創予防用などで備品倉庫に識別できるよう5Sで管理を行っています。
- 見た目は違いますが、ルール遵守されているか分かりやすくするために手袋の色で識別できる工夫をしています。
- ルールに従った運用で、労働安全はもちろん、食の安全にもつながりました。今は、ルール遵守がかなり定着しています。



6. 【緊急事態対応】

- 労働災害や火災発生時など、緊急事態で適正な判断、動きができるように様々な取り組みを実施しています。
- 具体的には、緊急事態発生時のマニュアルや対応手順の作成、これらをもとに模擬訓練を実施して検証、訓練後の手順の不備、見直しを確認し、手順を繰り返し更新しています。マニュアルは、1ページ1手順にし、写真や図を多く、文字を少なくして見やすさを配慮しています。
- 理解度を高める工夫として「非常口スタンプラリー」というイベントを実施しています。最寄りの非常口の認識向上につながっています。



7. 【労働安全活動の見える化】

- 当社では、労働安全活動を活性化させるため安全衛生委員会を8つの部会に分けて活動しています。
- 広報部会は、入社3年目までの労災発生リスク軽減を目的に、高卒2年目社員が所属し、労災事案を分析し、私たちならこうするという内容を安全新聞にまとめてもらい、掲示しています。
- ヒヤリハット部会は、従業員全員、毎月提出を義務化し、提出書類は掲示して見えるようにしています。提出書類は工場長が全てに対策、指示についてコメントし、提出した人が対策の結果を記録しています。掲示されているので対応したかどうか分かるのでやり残し防止に繋がっています。
- 高リスクのものは、リスクアセスメント委員会にかけられ、費用をかけ本質的対策を行っています。
- 対策は成果に応じて換金及び社販に使えるユーラクポイントに還元されるシステムにして、活性化のための工夫しています。



8. 【外国人派遣労働者の安全対策】

- 当社では、外国人派遣労働者を雇い入れています。言葉や文化の違いで認識にギャップが生じないように対策を行っています。
- 入社時に日本語能力テストを実施して、コミュニケーションの問題点を把握し、配属するライン長に接し方などを伝達しています。
- 職場内の労働安全方針や社内の安全喚起の表示は英語を併記し、外国人でも分かるようにしています。
- 安全教育の資料は、英語に翻訳したものを準備、実施しています。また、理解度を高めるために映像の教材も活用して、知らない、分からないを無くす工夫をしています。
- こうした取組みもあり、外国人従業員のケガは発生していません。



安全の成果

- トップの方針、安全教育の取組みで従業員の安全意識が向上している。
- リスクアセスメントに関するスキルが向上している。

副次的効果

- 安全の取組み含め、自ら課題を出し、解決し、部門間で連携する力がついてきた。
- 製品特性や機械・設備について従業員が深く知ることができ、作業方法の改善やスキルアップにつながり、毛髪クレーム低減や、生産性が向上している。

取材年月：2020年11月

* 上記取組みは、当該企業の労働安全の取組みの一部です。